

ロジザード ZERO との連携によるラピュタ AMR の RaaS 開始

物流ロボティクスサービス（RaaS：Robotics as a Service ※）を提供するプラスオートメーション株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：飯間 卓、以下「+A」）は、クラウド型在庫管理システムのリーディングカンパニーのロジザード株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：金澤 茂則、以下「ロジザード」）と、ラピュタロボティクス株式会社（東京都江東区、代表取締役 CEO：モーハナラージャ・ガジャン、以下「ラピュタロボティクス」）と共同で、ラピュタロボティクス製の自律走行ロボット PA-AMR（以下「ラピュタ AMR」）の RaaS 提供を開始します。クラウド倉庫管理システム「ロジザード ZERO」と「ラピュタ AMR」を標準連携したことにより、導入に関するコストとリードタイムを削減することを実現し、従来よりも更に魅力ある RaaS を提供出来るようになりました。



急激なeコマース需要増大、販売のオムニチャネル化、人手不足、疾病災害を由来とする職場環境の変化等により、物流の現場では自動化のニーズが益々高まっています。+Aでは高い機動力と柔軟性を維持しながら初期投資ゼロからのサブスクリプション型のRaaS提供を通じ、ロボットを始めとする自動化機器を業界全体で融通しながら活用していくことでロボティクスシェアリングプラットフォームを構築していきます。このような新たな取組を通じて業界全体を繋げ、競争力向上に貢献しながら、次代のロジスティクスをお客様と共に創っていきます。

参考：「RaaS×AMR×WMSの取り組みで描く、物流自動化の未来」 <https://www.logizard.co.jp/article/13.html>

（※）+AのRaaSとはロボティクスサービスを月額定額制のサブスクリプション型で提供するもので、初期費用はゼロ円から、導入も比較的短期間で完了し、月額料金にコンサルティング・システムインテグレーション・ハードとソフトのレンタルや維持管理・改善・契約満了時の撤去費用をすべて含む活用しやすいサービス。オペレーションに最適なロボティクスシステムを企画・提案出来ることに加え、ご要望に応じ一時的なロボット台数やスペースの増減にも対応、故障・点検時は迅速に代替機を準備する等、高い柔軟性と機動力を持つことが大きな特徴。従来型の固定式大型マテリアルハンドリング機器に想定される以下の課題が解決可能となっている。

- ✓ 導入、撤去に関する大きな金銭的・時間的コストがかかること
- ✓ 調達手段が、購入もしくはフルペイアウトのファイナンスリースのみと限定的なこと

- ✓ 短期間での能力・レイアウト変更が困難等、柔軟性・機動力が低いこと
- ✓ 故障・点検時に関連オペレーションが全停止してしまうこと

以上

<ロジザードについて <https://www.logizard-zero.com/>>

2012年9月に販売を開始した自社開発のクラウド倉庫管理システムを提供しています。顧客に寄り添い1社1社丁寧に導入支援を行う「サービス会社」としての姿勢が評価され、既存ユーザー及び業界周辺企業による紹介・口コミを中心に実績を伸ばしてきました。BtoC物流からBtoB物流まで幅広い業態・商材を管理できる柔軟性があり、周辺システムとの豊富な連携実績、導入まで最短1か月のスピード感、365日電話対応のサポート体制が評価されています。国内外のメーカー・EC事業者・3PL事業者幅広く提供しており、1,334現場(2020年12月末現在)で稼働中、WMS業界において圧倒的な実績でトップシェアを誇ります。

<ラピュタロボティクスについて <https://www.rapyuta-robotics.com/ja/>>

「ロボットを便利で身近に」をビジョンに掲げ、チューリッヒ工科大学からのスピンオフとして創業したロボットプラットフォーム開発企業です。世界最先端の制御技術及び人工知能技術を活用した次世代クラウドロボティクス・プラットフォーム「rapyuta.io」の提供や、当該プラットフォームから開発された協働型ピッキングアシストロボット「ラピュタ AMR」などのソリューションの提供を通じ、ロジスティクス領域に注力した現場のDXを支えています。

<プラスオートメーションについて <https://plus-automation.com> >

プラスオートメーションは、国内有数の物流子会社を有し海外を含めたロボット調達に幅広いネットワークを有する三井物産と、先進的物流施設のリーディングプロバイダーである日本GLPの出資を受け2019年6月に設立、2020年9月には物流ソリューションプロバイダーの豊田自動織機への第三者割当増資も実施し、本日現在では累計ロボット導入台数が1,000台を超える等サービス展開を加速中です。顧客課題解決、+A人材とサービスの開発、物流業界全体の高度化への貢献という3点を目的に開設した東京品川のデモ兼R&Dスペース「cube」で日々多様なロボット導入と連携を実施しサービスレベルの向上に努めています（cube住所：東京都品川区勝島1丁目5-2 1勝島1号倉庫1F）。今後も「テクノロジーで次代のロジスティクスを共に創る。」をビジョンに、新たな物流サービスの提供を加速します。

本件に関する問い合わせ先：プラスオートメーション 大西

Email : info@plus-automation.com

